

ウィズ ～ともに～

# WITH



おれんじ村

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0  
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>



# 書きたくなくても、 がもい

## ～おれんじ村の大事な1ページを、僕は記す～

いろいろと考えると、原稿を書くか書かないか本当に悩んだ。でも、きっとこのつらい時期も僕たちは乗り越えていく。そんな自信がある。

だから、おれんじ村の歴史として、コロナ禍の今をここに記す。

そして、もし他の事業所でコロナが発生した時の一助になればと思う。

### ついに、『おれんじかふえ』再開!!

2020年12月、クリスマスの頃。おれんじ村の新社屋が完成した。年が明け、2021年1月より新社屋での弁当製造が開始。



🍊 待望の新社屋。5年越しの想いがカタチに

そして、2021年4月  
念願、待望、切望…。んー。なんて言葉が合うのかわからない。ただやっと、私たちの5年越しの想いがついに実現した。

振り返ると2016年4月14日、16日に、熊本地震に被災。震災の影響は大きく、長年運営をしていた『おれんじかふえ』の営業を断念した。

『おれんじかふえ』を弁当の製造販売へと事業転換することを決断…。



🍊 地震直後のおれんじかふえ

しかし、『おれんじかふえ』の再建を夢見た5年間は、がむしゃらに前に進んだ5年。とっもしんどい5年。何度もくじけそうになり、ちょっとあきらめかけた5年。でも、充実した5年だった。

みんなの5年分の想いが詰まった『おれんじかふえ』が4月3日(土)にオープンを迎えた。

コロナ禍の影響もあり、ひっそりとしたオープンだった。でも、応援してくれる人がたくさん駆けつけてくれた。

再開した『おれんじカフェ』でやりたいことを思い描き、胸を膨らませていた。

### しかし、そんな矢先に…。

5月、7月と2度にわたり、おれんじ村内でコロナ陽性者が出る。

1度目は5月。初めての経験で、何をしたいかわからなかった。まずは、コロナ発生時の対応など行政の資料などに沿って対応をした。

コロナの発見は、熊本市の実施する施設職員向けのPCR検査で判明した。早く発見できたことはいいことだったが…。

このPCR検査は、陽性の結果が出た後、再度医療機関で検査をして初めて陽性が確定する。

この時は、熊本でも陽性者が急増しており、お昼前に陽性者がわかったのに、翌日の夕方しか結果が出なかった。

確定するまでなんと丸一日と半日もかかった。

### 不安だらけの初日。

熊本市の職員向けのPCR検査で陽性が判明した後は、まず、センターのみんなを集め事情を説明し、自宅待機をお願いした。

みんなを自宅へ送り、家族やみんなが利用しているヘルパー事業所など多くの関係機関へ連絡を入れた。それとともに、今後の営業予定を検討ししばらく仕事の方は（弁当・菓子製造販売など）臨時休業を決めた。

しかし、ヘルパーさんが入らなくなる人もおり事業所は開けて、みんなの過ごす場所は確保することにした。また、事業所へ来るのが不安な人は、自宅へ訪問することとした。

陽性者は、医療機関でのPCR検査を終えるが、結果は翌日の夕方遅くにはしか出ないということだった。

僕は、連れ合いが医療関係者で、できれば自宅に帰ってきてほしくないと言われ、おれんじ村に泊まることにした。

真っ暗な事務所で、ほんの僅かばかりの陰性の期待を信じながらもこの先どうなるのかという不安ばかりが募り、夜も眠れなかった。

### ところが折れそうになった。2日目。

朝から、スタッフで集まり役割分担。メンバー全員へ電話連絡し健康状態の確認、濃厚接触者の特定作業、支援度が高いメンバーやヘルパーなどのサービスが止まっていないかなどの状況確認、全館の消毒などみんなで手分けして行った。

お弁当、お菓子のお客様への連絡をどうするか？ただ臨時休業だけでお知らせをするのか？コロナ感染症発生による臨時休業とちゃんと説明をするのか？

悩みはしたもの、やっぱりちゃんとお知らせした方がいいとなり、臨時休業のお知らせを作成しお客様へ配布、店舗前にも掲示、HPにも掲載することにした。

夕方になり、予定時刻より遅れて医療機関より連絡があった。ほんのわずかな期待は、すぐに打ち砕かれた。

陽性だった。

医療機関からは、保健所からの連絡を待って下さいとのことだった。でも、もう丸一日と半日待たされて、いつ連絡が来るかわからない状況に、僕は待つことができず、保健所に問い合わせた。やっぱり、保健所からは「連絡を待ってください」と言われた。

熊本市の障がい保健福祉課へもコロナ陽性者発生の連絡をいれた。担当者から、「保健所へ対応を急いでもらうように伝えます。」と言われ、すごくありがたかったし、ちょっと安心できた。

この日の夜が、一番つらかった。この2日間、本当にこころ休まる時間も無く、無我夢中で対応をした。この後、引き続き陽性者が発生したら、この2日間と同じことをまた繰り返すのかと思うと涙が出てきた。

### 3日目、そして終息。

朝一番、保健所から連絡があり、濃厚接触者の特定作業が始まった。保健所へ話をしてくれた熊本市の障がい保健福祉課の担当者に感謝した。

お昼に接触者リストを作成し、保健所へ提出。約2時間後に、保健所より連絡があり、濃厚接触者が特定され、濃厚接触者のPCR検査受検の日程調整。2日後に検査となった。

検査の翌日、濃厚接触者等のPCR検査の結果が陰性となり、コロナ対応の一連の対応が終わった。

### コロナ対応の後も続く、不安

やっと対応が終わった後は、商売を再開して、以前のようにお客様がお弁当を注文してくれるのかという不安が押し寄せてきた。

営業再開日の朝、電話が本当に鳴るのか、不

安で不安でしよがなかつた。でも、コロナの前ほどとはいかないが、沢山の方から注文をいただいた。中には、「大変でしたね。がんばって。」と声をかけてくれる人もいて嬉しくて、また泣いた。

コロナ発生から僕はきっと本当は、もっとたくさん泣いたと思う。不安の涙がほとんどだった…。

でも、最後にいつもと変わらず弁当の注文をいただいた時のうれし涙が忘れられない。

だから、きっとこれからも何があってもがんばれる気がする。

### 再度…。そして、おれんじかふえの今。

5月以降、細心の注意を払いコロナ対策をしてきた。4月にオープンした『おれんじかふえ』はスタッフの安心・安全を優先し、店舗をスタッフの食堂として使用することで、一人ひとり離れて昼食を摂り、3密になりやすい食事の場面での感染の防止を図った。

しかしながら、7月、再度、おれんじ村をコロナが…。前回の経験もあり、素早く対応できた。そのため、商売の方は1回目に比べ早く再開できた。

しかし、念願のオープンへとこぎつけたばかりのカフェは、今もなお通常営業が行えない状況となり、大幅な収入減少となった。

カフェで働くスタッフは、率先して話し合いを行い少しでも売上と仕事の確保のため、暑い中でも

一日店頭立ち、弁当や菓子の販売を開始し、近隣へのポスティング作業をするなど試行錯誤しながらも、奔走している。

毎日、店頭で大きな声で宣伝をするカフェスタッフの姿が、徐々に地域の方々にも浸透してきており、カフェの顧客も増えつつある。

### おれんじ村を休みにしたいが…。

この記事はお盆休みに書いている。オリンピックが閉会し、毎日、全国各地でコロナ感染者が過去最多を更新したとのニュースが流れている。

第5波の真った中なのか、まだまだ第5波のはじまりなのかかわからない。

今年の初めに、おれんじ村を長く応援してくれた大切な人が、コロナで亡くなった。

おれんじ村にとってだけでなく、僕にとっても、とても大切な人だった。

今思い出すと、僕はいつも困った時だけ電話をして、いつもいつも助けてもらっていた。

願いが叶うなら、もう一度会って、ちゃんとお礼が言いたい…。

記事を書いている今日、まさに今、実母と甥っ子たちが、コロナに感染した。まだまだ家族内でコロナが広がるかもしれない…。コロナの恐怖が家族へも襲ってきた。もう僕は何をしたいのかかわからない。

お盆休みがあけたら、おれんじ村を休みにしたいとも思う。コロナからみんなを守るには、家で過ごしてもらった方がいいんじゃないかとも思う。



暑い日も、雨の日も、毎日☆スマイル☆で店頭販売がんばります!!

### しかし、そんな訳にはいかない。

僕は、雇用契約を結んでいて労働者であり、いろんな制度やコロナ関連の支援が受けられる。

しかし一方で、障害のある人は雇用関係がなく労働者ではなく、施設の利用者でしかない。

なので、なんの公的な支援策もない。

熊本地震の苦しい時も、一緒にがんばったからこそ、乗り越えられた同僚なのに。

それなのに…

施設では一緒に働いていても、職員と利用者で、とても大きな格差がある。

『障害のある人ない人が対等な関係を…』と言い続けた僕らおれんじ村に、コロナが現実を突きつける。

### コロナ禍の先には…。

おれんじ村では、親元を離れ、自ら働いて地域で暮らす障害当事者がたくさんいる。おれんじ村を休むということは、みんなの地域での生活を奪うことになる。

だからこそ、僕らは、お互いの暮らしを守っていくため、今できることを考え、商いを続けていくしかない。

そして、いつかコロナ禍を乗り越えた僕らは、また一歩強くなり、僕たちの目指す姿へ近づいていこう。

障害のある人もない人も対等な関係、職員と利用者の壁を越え共に働く職場に『おれんじ村』は、

雨にも負けず  
風にも負けず  
熊本、  
地震にも負けなかった  
おれんじ村  
2度のコロナにも  
絶対に  
負けない

### 編集後記

こんにちは。毎日暑い日が続いておりますが、みなさんどうお過ごしでしょうか？おれんじ村は暑さに負けず、コロナに負けずみなで頑張っております。

おれんじ村は2度の新型コロナウイルス感染症で、いろいろと大変です。感染症対策にも、しっかりと取り組んでいたのですが、残念ながら…。

しかし、落ち込んでばかりはられません。みんなの生活がかかっているの、前に進むしかありません。

9月のイベントとして敬老の日のギフトを企画しました。一番優しく接してくれるおじいちゃん、おばあちゃんにおれんじ村の敬老の日ギフトはいかがでしょう？

まだまだ新型コロナウイルスが全国各地で猛威を振るっています。手洗い・うがい・換気を徹底してコロナにならない・感染させないを合言葉にコロナに立ち向かうと思っています。